

令和3年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和3年6月19日（土）午前10時～正午

場 所：地域交流センターいわま「あたご」

出席者：21名

《説明後の意見交換》

- 1 常磐線の増便について
- 2 公共交通の強化について
- 3 農業後継者に対する考えについて
- 4 市道の管理について
- 5 ジビエの活用について
- 6 新型コロナワクチンについて
- 7 エネルギー自給について
- 8 岩間工業地域と東大牧場について
- 9 ETOWA KASAMA について
- 10 道の駅かさまのデジタルサイネージについて
- 11 笠間市出身の若手コミュニティについて
- 12 道の駅かさまの整備費について

1. 常磐線の増便について

【意見等】

常磐線の土浦駅より北は、昼間だと1時間に2本程度しかない。増便を希望する。

【回答】

常磐線整備促進期成同盟会を通じて、長期的な目線で要望を続けていく。

2. 公共交通の強化について

【意見等】

岩間の路線バスは、茨城町に行くものしかない。デマンドタクシーは予約や回数券が必要で利便性に欠ける。岩間駅から友部駅の間だけでもバスを走らせてもらえれば、確定申告の会場にも自分で行けるようになると思う。

【回答】

現在、路線バスは乗客が少なく税金で維持していて、新たな企業が来る場合などを除いて新たな路線を作ることはむずかしい。デマンドタクシーの台数を増やすなど違う形も含めて、利便性を高められる方法を検討をしていく。

3. 農業後継者に対する考えについて

【意見等】

先日、市内の農業者と面積を把握するマップ作りに参加したが、岩間地区では3件しか参加していなかった。農家自身が担い手としての意識を高めていく必要もあると思うが、市が積極的に農家の意識向上や後継者の育成に取り組む必要があると感じている。このままでは耕作放棄地がどんどん増えていってしまう。

【回答】

後継者不足は日本全体の問題となっている。まずは、儲かる農業のモデルケースが増えていくことが必要だと思う。そして成功事例の紹介や勉強会を通じて、後継者の育成を行っていく。地区によっては、少しずつ後継者が増えてきている所もある。耕作放棄地については、一度荒地になってしまったものを農地に戻すことは難しいので、いかに現在の農地を維持していくかを中心に考えて農業を守っていく必要があると感じている。

4. 市道の管理について

【意見等】

管理されていない市道があり、自力で管理を行っているが、すぐ状態が悪くなってしまい維持が難しくなっている。

【回答】

生活道路として市民の方々が普段から使われている道であれば、市で一定の管理をしているので、区長を通じて要望いただければ対応できる。

5. ジビエの活用について

【意見等】

道の駅で商品開発を行っているとのこと、ぜひジビエ料理をとりいれてほしい。検査が必要だが、イノシシも美味しく食べられるので、穴を掘って埋めてしまうのはもったいない。

【回答】

市単独では利益を出すことが難しいので、周辺自治体や県と一緒に事業を進めていくことが必要だと考えている。なんとかしたい気持ちはあるので、アイデアをいただきながら検討したい。

6. 新型コロナワクチンについて

【意見等】

ワクチンの要望数と供給数など、市や県の現状についてもっと情報を出してほしい。

【回答】

市でも国の状況が見えない部分があるので、そのときの状況に合わせて対応している現

状となっている。

7. エネルギー自給について

【意見等】

持続可能なまちづくりが求められてきているが、エネルギーの自給についてどのように考えているか。市内ではソーラパネルの設置が増えてきているので、市内の発電量と消費量を把握し活用すれば、エネルギーを自給することも可能ではないか。環境センターのリニューアルなどはその点も考慮してほしい。

【回答】

国の方針として、2030年に公共施設の半分は太陽光パネルを設置することが推奨されている。建物ごとに設置をするのではなく、全体的な計画として設置業者を公募して、パネルの設置を行うことも検討している。環境センターについても、エネルギーの使い道や脱炭素の取り組みなど、環境に配慮して計画を進めていく予定。

8. 岩間工業地域と東大牧場について

【意見等】

これから整備を行う岩間工業地域の向かいに東京大学の牧場がある。農業や畜産を守るという意味でも、工場が入ってきても影響がないように、牧場のことを配慮した上で整備を行ってほしい。

【回答】

バラバラに開発が進んでしまうよりも、整備を行うことで適切な環境で工場の誘致ができると考えている。東京大学の牧場については、ネームバリューもあるので、農学部の移設や施設の充実化などを働きかけたこともあるが、実現は難しい状況。

9. ETOWA KASAMA について

【意見等】

スカイロジックを民間の企業がリニューアルし、魅力が向上して良かったと感じているが、地元の人たちが利用しづらくなってしまった。

【回答】

リニューアルし稼働率もあがり、周辺の観光や農産物の消費などの効果が出ているが、料金面で市民が気軽に利用ができなくなってしまったという面はある。たとえば、市内の子育て世帯を対象とした割引を行うなど、利用しやすくなるような仕組みができれば良いと感じている。また、これから展望台周辺の整備を行うので、そこで市民の方々が楽しめるような施設づくりができればと考えている。

10. 道の駅かさまのデジタルサイネージについて

【意見等】

新聞で、アバターが観光案内してくれるパネルが設置されるという記事を見た。話題性もあり、アバターだと気軽に話しかけられると思うので、道の駅にもぜひ取り入れてほしい。

【回答】

現在はまだ試験段階であるが、道の駅には設置する予定である。ネットで調べれば分かることの案内では、利用されなくなってしまうので、継続的に利用してもらえようものにしていきたいと考えている。

11. 笠間市出身の若手コミュニティについて

【意見等】

現在アゼルバイジャンで農業に関わる事業を行っている。笠間市からも栗の加工技術などを伝える活動を行ってほしい。笠間市出身で地元貢献したいと思っている若手が沢山いるはずなので、そういった人材のコミュニティを作り、次の世代につながるような取り組みができれば良いと思う。

【回答】

現在は、コロナの影響で国際的な活動は停止してしまっているが、これまでも JICA と一緒にベトナムとの交流をするなどの活動をしてきた。グローバルな活動はこれからさらに必要になってくると感じているので、情報提供をいただきながらどういったことができるか検討していきたい。

12. 道の駅かさまの整備費について

【意見等】

道の駅の事業費について、総額と市の負担額について教えてほしい。

【回答】

当初事業費は約 25 億円の計画で進めてきたが、重点道の駅に選ばれ機能を強化することになったため、4 億円程度増える予定。地方創生交付金の 3.5 億円などとあわせて 5 億円程度の補助金と起債を事業費として見込んでいる。このほか駐車場の一部、国道の改修については県の事業として進めている。